

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月16日

事業所名 ASIS

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	87.5%	12.5%	・プログラムや人数に合わせて、大部屋と中部屋を使い分けている。休憩したい児童がいれば、個室を使えるようになっている。 ・利用する児童が多くなって来ているように感じるため、少し狭く感じるが多くなってきた。	プログラムに定員を設けたりするなど引き続き工夫していきたい。 休憩スペースの確保はしっかりとっています。
	2	職員の配置数は適切である	87.5%	12.5%	・少し少ないと感じる日はある。 ・職員用のスペースや業務的な部分から増やす事も少なくすることも難しいと考えます。	コロナやインフルエンザで人員がギリギリの時が何回かありました。余裕を持って対応できるよう、職員は増やす予定です。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	87.5%	12.5%	・清潔は保っている。通りが狭いので車椅子利用者向けではない。 ・トイレはバリアフリーではないが、毎日掃除と消毒をしている。 ・車椅子など、配慮が必要な方に対しては、見学時に部屋の移動やトイレの利用について、丁寧に説明、確認を行っている。 ・バリアフリー対策はまだ出来ないと考えますが、在籍している児童で現在の問題点は無いと思います。 また毎日清掃をしっかりとしているので清潔で心地よく過ごせる環境になっている。 ・毎日、消毒・掃除をしています。	バリアフリーの配慮が必要な方に対しては、その都度丁寧に説明をしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100.0%	0.0%	・毎朝のミーティングで振り返りと改善などを話し合い、実行している。イベント等も同様に話し合い、記録を残している。 ・毎朝のミーティングで振り返りと次への支援を考えるようにしている ・毎日のミーティングで話し合いができています。 改善点などを相談しつつ次回の改善点また実行した後に出た改善点なども相談し共有している。 ・ミーティングで振り返り・改善点の相談をしています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100.0%	0.0%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100.0%	0.0%	ホームページに記載している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	37.5%	62.5%	・分からない。 ・第三者による外部評価は行っていないが、関係機関との連絡調整で頂いたご意見を業務改善に繋げている。	今後第三者委員会を設置する予定です。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100.0%	0.0%	・定期的に研修を受け、事業所全体で共有している。 ・社内研修などは定期的に行っている。 ・外部の研修もあり、参加した職員から全体に共有している。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月16日

事業所名 ASIS

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちにもヒアリングをしっかりと行い、ニーズをつかむようにしています。 毎朝のミーティングで個別支援計画も確認しながら支援を考えて行なっている。 原則、利用者、保護者両者のニーズを伺いながらサービス計画を作成している 保護者、児童からの要望などを踏まえ職員間でもそれで大丈夫なのかを話し合いながら進めています。 	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	75.0%	25.0%	標準化はされていないが児童事に合わせて考えている。	ある程度標準化されたツールは使っているので、職員間の共有をしっかりとしていきたい。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> 毎月案を出し合っている。 毎月職員でアイデアを出し合っています。 	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> 様々なプログラムを受けれるよう考えている。新しいプログラムも加え、児童の要望なども採用している。 時期や児童に合わせてプログラムが考えられている。 月に一度、新しいプログラムを職員全員が考え、企画している。 	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100.0%	0.0%	季節や学校予定などに合わせながら内容を考えている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	児童の置かれている環境なども考えながら支援、計画が作られている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ミーティングは必ず行っている。 毎朝のミーティングでは全体で打ち合わせし、細かな動きに関しては担当職員ごとで話し合っている。 毎朝のミーティングで細かい部分まで話し合っている。 	
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	62.5%	37.5%	<ul style="list-style-type: none"> その日、もしくは次の日に必ず振り返りをしている。 気づいた点などは記録に残して共有し、次に活かしている。 支援終了後は毎回打ち合わせはできていない。この場合も、ミーティング議事録に記録を残して、翌日に必ず共有を行っている。 翌日が休みの職員や気になる部分などはその日に話したりしているが時間の都合上難しいと思う。 翌日の朝のミーティングで詳しい内容など話し合いはしている 翌日のミーティング内で、前日の振り返りをしています。 	勤務時間の関係で振り返りが翌日になることは多い。緊急に話し合いが必要な場合は、時間を取って行っています。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月16日

事業所名 ASIS

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100.0%	0.0%	気になる部分や行動などは記録をし共有をしている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100.0%	0.0%	児童の状況に合わせて定期的にモニタリングを行なっている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	100.0%	0.0%	プログラムやイベントで色々な活動ができるよう工夫している。	
関係機関や保護者との連携	20 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100.0%	0.0%		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて行なっている。 ・必要に応じて、学校と情報共有できるかたちをとっています。 	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	37.5%	62.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・対象となる児童がいません。 ・今は医療的ケアが必要な児童が在籍していない。 ・現状、医療的ケアが必要な児童が在籍していない。今後ニーズがあった場合にはしっかり情報共有しながら相談して進める。 ・現在は医療的ケアが必要な自動が居ないため出来ていない。 	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	62.5%	37.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない。 ・必要に応じて行なっている。 ・保護者や現在利用しているところのいいは出来ていない。 	中高生のデイという特性上、就学前の関係機関と連携を取る機会があまりありませんが、必要な場合積極的に行っていきます。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	75.0%	25.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は要望はないが、児童に合わせて対応できる体制はある。 ・あまり出来ていない ・必要に応じて引き継ぎ書類の作成、会議の場を設けています。 	児童用のトリセツなどを作り、情報を共有したりしています。すべての職員が内容をしっかり把握できるよう進めていきます。
	25 児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	87.5%	12.5%		必要な児童に関して、こちらからも積極的に連携をとっています。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	25.0%	75.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・まずはご家族、兄弟の方たちと一緒に活動できる機会を作っています。 ・定期的に兄弟児が参加できる機会を作っているが、参加実績はない。 ・中高生の利用なので、外で知り合いに会いたくない、などの意見もある。今後の課題の部分。 ・交流をまだ作れていない。 	難しい課題ではありますが、ご家族などできるところから進めていきたいです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月16日

事業所名 ASIS

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	75.0%	25.0%	・定期的に参加している。 ・まだ参加出来てない。	毎回ではないですが、参加できるときはしています。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100.0%	0.0%	・日々の活動記録を通して情報共有をしている。状況に応じて、電話などで連絡をとったり、話をすることもある。 ・すぐに連絡できるようにしている。 ・保護者とやり取りできるシステムを使い、気になる部分を聞いたり、日々の共有などしている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	62.5%	37.5%	・何かあれば連絡は取り合っているが、トレーニングなどは行っていないと思う。 ・事業所によく相談に来られる方もいらっしゃいますし、保護者会などで研修をもうけたりしています。 ・保護者会などで研修を行うことがある。 ・普段児童が参加しているプログラムについての内容や相談などをできる保護者会などはしている。 ただ、頻繁にそういった時間を取れている訳では無い。	個別に相談がある保護者の方には、アドバイスをしています。 保護者会での研修は今後もしていきたいです。
保護者への説明責	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100.0%	0.0%	1時間ほどかけて説明している。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100.0%	0.0%		
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100.0%	0.0%	定期的に保護者会、親カフェを開催している。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100.0%	0.0%	今のところ苦情はないが、対応する体制は出来ている。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100.0%	0.0%	毎月、通信の発行をしている。 ホームページや通信などで発信している。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月16日

事業所名 ASIS

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
任等	35 個人情報に十分注意している	100.0%	0.0%		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100.0%	0.0%	・視覚支援なども使いながら、児童・保護者に合わせて配慮を考えている。 ・視覚支援、言葉選びなど、検証しながら進めている。 ・口頭だけでは理解が難しい児童には視覚支援などもしている。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	75.0%	25.0%	・今後取り組んでいきたいです。 ・保護者参加型のプログラムは定期的開催出来るようにしているが、地域住民の参加は出来ていない。 ・現状地域住民との関わりができていない。どういった方法で進められるか、検討を進める。	今後取り組んでいきたいです。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100.0%	0.0%		
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100.0%	0.0%	半年に一回、避難訓練を実施している。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	87.5%	12.5%		研修は行っています。非常勤職員への周知も徹底します。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100.0%	0.0%	身体拘束を必要とする児童は居ないため計画には書かれていないが、研修や共有などはしている。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	62.5%	37.5%	・現在は医師の指示書での対応が必要な児童はいないが、保護者と連絡をとり、確認を取りながら対応している。 ・現在食事提供をしていない。イベント等で飲食が発生する場合は、都度保護者と確認、相談を行っている。 ・食べ物を扱う場合は保護者や児童本人との共有はしている。	医師の指示書が必要なレベルの児童はいません。保護者の方とは積極的に情報は共有しています。
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100.0%	0.0%	ヒヤリハットのファイルを作ってまとめられている。		